

中核研究機関: 動物衛生研究所

背景

- ・日本における高病原性鳥インフルエンザの発生
- ・アジアにおける高病原性鳥インフルエンザの流行と人への感染

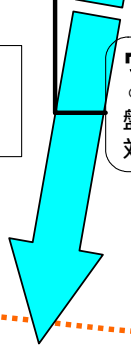


研究調査



期待される効果

- ・ウイルスの国内まん延防止
- ・国民の健康と食の安全・安心の確保



ゲノム疫学研究
(感染経路の調査)

ウイルスの病原性解析

ウイルスの人への感染予防対策

- 早期・迅速診断及びワクチン開発の研究基盤を確立するとともに、人への感染に備えた対応マニュアルを策定する。

動物衛生研究所
鳥取大学
自然環境研究センター

動物衛生研究所
北海道大学

東京大学医科学研究所
国立感染症研究所
国立国際医療センター

追加調査研究

研究対象
山口県発生例
↓
大分県発生例

ゲノム疫学研究及びウイルスの病原性解析について追加調査研究を実施

ゲノム疫学研究(感染経路の調査)

- 大分県で分離されたウイルスのゲノム解析を行い山口県を含む既知のウイルスとの比較による分子疫学的解析や野生鳥類等の日本への飛来情報等を解析することで、分離ウイルスの起源(由来)を明らかにする。

動物衛生研究所
鳥取大学
自然環境研究センター

ウイルスの病原性解析

- 大分県で分離された高病原性鳥インフルエンザウイルスの鳥類あるいはほ乳類に対する同・異種宿主間伝播の可能性と病原性を明らかにする。

動物衛生研究所